



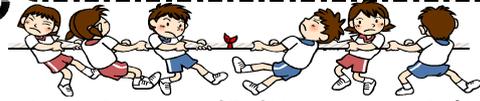
令和4年度 学校だより

はがきた

第5号 令和4年9月6日

教育目標

『学ぶ子 守る子 がんばる子』
集中して学び、生命と人権を
守り、生きる力の基礎を身に
付けた子どもを育成する。



2学期が始まりました！

例年になく猛暑日が続く厳しい7、8月でしたが、それでも児童にとっては楽しい夏休み。「長いと思っていた夏休みも、終わってみるとあっという間だった」などと言っているのではと思います。保護者の皆様には、コロナウイルス感染症の拡大があり、いろいろとお気遣いなされたのではないのでしょうか。お子様の御家庭での生活ぶりはいかがでしたでしょうか。2学期が始まると毎年のように児童の成長を感じます。きっと各御家庭で、家族の一員として役割を果たした自信なのだと思います。今学期も、児童の成長と活躍を楽しみにしたいと思います。引き続き御協力よろしくお願いいたします。

新任職員紹介

1学期末の7月11日から、若林靖子先生が本校に赴任しました。若林先生は、以前、本校に勤務したことがある経験豊かな先生です。主に中学年をお手伝いしていただきます。すでに子ども達と打ち解け、温かな指導をしていただいています。よろしく願いたします。

若林靖子先生から一言



私は、平成20年度から26年度まで芳賀北小学校に勤務していたので、とてもなつかしいです。夏休み前の7月11日から北小に赴任し、子ども達の明るい笑顔に元気をもらいました。9月からは何クラスかの授業を担当することになりました。1日も早く子ども達の名前を覚えたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

ホンダ社会科特別授業(5年)



9月2日(金)に5年生を対象に社会科特別授業がありました。この授業は、芳賀町にある(株)ホンダのみなさんの御協力により、SDGsについての理解を促すために行われました。ホンダで開発している様々な機械の中から発電機に焦点を当て、地球温暖化に対して、「CO₂を削減するためにどんな方法があるか」といった大きな問題を、身の回りの電気機器を用いて興味もてるように説明していただきました。また、未来について多くの児童が興味をもち、話し合いを進め、発表していました。



9月5日(月)~の主な行事予定

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 5(月) 身体計測(2日~12日) | 16(金) スクールレターはがきた来校 |
| 時間割B開始 委員会④ | 19(月) 敬老の日 |
| 安全点検 バス乗車指導① | 20(火) 4年水泳教室② |
| 6(火) 4年水泳教室 | 1年家庭教育学級 |
| 読み聞かせボランティア来校 | 教職員による読み聞かせ |
| 8(木) 5年水泳教室② | 22(木) 町学力向上研修会 |
| 9(金) 1年水泳教室① | 23(金) 秋分の日 |
| スクールレターはがきた来校 | 27(火) 3年水泳教室② |
| 12(月) 6年水泳教室② バス乗車指導② | 28(水) 北小タム(校長講話) クラブ③ |
| 13(火) 3年水泳教室① PTA広報委員会 | 運動会練習開始 |
| 14(水) ワークライフバランス(定時退勤日) | PTA本部役員会 |
| 15(木) 2年水泳教室① | 29(木) 2年水泳教室② |
| 16(金) 1年水泳教室② | 30(金) スクールレターはがきた来校 |



☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

【2学期始業式】



立派な発表
でした



2学期のめあて
づくりを
しました



【ホンダ社会科特別授業】(5年)



楽しく話し
楽しく発表
しました



高校野球に想う

全国高等学校野球選手権大会、いわゆる夏の甲子園が、今年もコロナ渦の中でしたが、なんとか行われました。テレビで試合を観戦させてもらい、今年も、高校球児のひたむきな姿に大きな感動を覚えました。

今から1年半ほど前のことです。私は、自分の子どもが高校野球をやっていたので、ある高校に練習試合の応援に出かけました。その高校の野球部の監督さんは、以前お世話になった方だったので、あいさつに伺いました。十数年ぶりの再開だったので、とても懐かしく、様々な話に花が咲きました。その中で、その監督さんが前年夏の甲子園が中止となったことについて話されたことが印象深く残っています。

令和2年は4、5月と休校が続き、6月に練習試合が解禁されたものの思うようにはできず、そしてついには夏の県大会自体がベスト8までの試合になってしまったのです。当時の3年生は、3年生として約1か月の野球部での活動になってしまいました。今にして思えば、そのときのコロナの状況の方が比べものにならないくらいよかったです。そのことを監督さんは、我々に何かできたわけではないのですが、申し訳ないことだったと振り返ったのです。ワクチンも治療薬もなく、治療方法も全くわからないときでしたので、仕方のない判断だったとは思いますが、それでも、やはり、なんとかできなかったのだろうかと思ってしまいました。

私の子どもは現3年生。コロナに翻弄され続け、何度も活動休止の期間を経て迎えた夏の大会でした。今年の大会でその監督さんの高校と対戦したことには何かの縁を感じます。また、最後に作新学院高校と試合をし負けはしましたが、悔し涙を流すことができました。それさえもできなかった2年前の3年生。やはり、申し訳ないことだったと感じます。しかしながら、どんなことがあったとしても最も優先すべきは命なのです。それだけは譲れないものなのです。何が正解なのか正直わかりません。

今年もコロナ感染症は第6波、第7波と繰り返し、収まる気配を見せません。学校生活では命を最優先させることはもちろんなのですが、コロナ渦でも心が揺り動かされるような想いが残る、そんな学校生活をさせてあげたい、そう願っています。

今年もコロナ感染症は第6波、第7波と繰り返し、収まる気配を見せません。学校生活では命を最優先させることはもちろんなのですが、コロナ渦でも心が揺り動かされるような想いが残る、そんな学校生活をさせてあげたい、そう願っています。

※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。
ぜひ御覧ください。